大江校だより

「チャレンジ」と「関わり」を楽しみ、「自己決定」する子どもを育てる

令和２年３月１３日（金）
山形県立楯岡特別支援学校大江校
第１４号　文責 教頭（中村）

みんなと過ごした日々、楽しかったね。









２月28日。誰も思いもしなかった、突然の学校生活の終わり…。それでも、大江校の生徒たちは、中学部も高等部も、落ち着いて過ごしました。刻一刻と流れる時間を惜しみながら、仲良く明るく過ごした大江校生。どの場面をとっても、そこにはあたたかくやさしい空気が流れていました。何でもない日が実はとても幸せな日だったのだ…と、生徒たちの姿を見て、改めて気づくことができました。

大江校を巣立つ皆さん。御卒業おめでとうございます。中学部の6名の皆さんは、全員進学し、それぞれの場所で新たな一歩を踏み出します。高等部の9名の皆さんは、社会人としての生活が始まります。大きな夢や希望、仲間と別れる寂しさや未知の世界への不安…。様々な思いが心の中に渦巻いているかもしれませんね。でも、恐れることはありません。皆さんには、たくさんの応援団がいます。「旅立ちの日に」の歌詞にあるように、勇気を翼に込めて、広い世界に飛び立とう！ これからもキラキラかがやけ、卒業生！

在校生の皆さん。先輩たちのしてきたことを受け継ぎながら、すばらしい大江校をこれからも作っていきましょう。4月には新しい仲間も入学してきます。新たな歴史を刻むのは、皆さんです。期待しています！

「地域の先生」との学習　より



中学部「お話の会」

大江町の読み聞かせサークル「糸ぐるま」の皆さんをお招きし、今年度3回目の「お話の会」を行いました。エプロンシアター・パネルシアターのほか、スポンジシアターや手遊びもあり、お話の世界を楽しみました。









高等部「租税教室」

今年も、山形税務署から講師の先生をお招きし、税金について学習しました。
税金クイズを通して、私たちの身近なところに税金が使われていることを学びました。
また、レプリカを使って、一億円の量も体感しました。













保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。

保護者の皆様、地域の皆様の御協力のおかげで、今年も生徒たちは、心に残る学びや体験を数多くさせていただきました。私たち教職員も、多くのことを学ばせていただきました。学校行事やPTA学部行事、体験学習などの場面はもちろん、作業製品展示会アンケートなど間接的な関わりの場面においても、大江校生をあたたかく見守ってくださいましたこと、大変うれしくありがたく思いました。学校教育に対する皆様の御理解と御協力に、厚く御礼申し上げます。

これから大江校は、開校6年目を迎えます。人に例えれば6歳、小学1年生です。大江校が新たなステージでますます成長するためにも、今後ともぜひ皆様のお力をお貸しいただければ大変ありがたく存じます。



…大江校に関わってくださったすべての皆様に心より感謝申し上げ、今年度の「大江校だより」の締めくくりといたします。 一年間本当にありがとうございました。